

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三三・四七・七二
毎週一回発行

3月議会

根本みはる市議の一般質問その②

子どもの命と安全を守る 保育士の配置を

国の保育士配置基準は、新制度の開始時に見直しされず、現在に至っており、あまりにも低い国の保育士配置基準の改善のため「子どもたちにもう1人保育士を」との声が上がり、愛知県内の保育園職員と保護者、公立・民間の労働組合などで実行委員会が結成される状況です。

非正規保育士の割合

47.6%

Q 正規非正規保育士の人数・割合

A 正規保育士は809人、非正規保育士は736人で、

正規率は73.6%、非正規率は26.4%。

非正規保育士736人のうち、1日2時間のみ勤務する「早朝パート保育士」など、

1日の勤務時間がフルタイムに満たない職員が645人で、約9割を占めている。

手厚い保育士配置基準により、子どものより良い成長につなげる

A 本市の保育士配置基準は、国よりも高い基準を定めており、1・2歳児の園児数は保育士1人あたり国基準

の6人に対し5人、3歳児は20人に対し15人、4歳児は30人に対し28人としている。

独自の配置基準を定めている理由は、国基準よりも手厚く配置することで、保育士の負担を軽減し、園児一人一人と向き合う時間を増やして園児のより良い成長につなげていくため。

	保育士配置基準	
	国	市
0歳児	3人	3人
1.2歳児	6人	5人
3歳児	20人	15人
4歳児	30人	28人

保育士配置基準の見直しを検討

A 現行の本市独自の配置基準は、平成20年度から運用しているが、発達障がい等配慮が必要な園児の増加など、当時と比べ保育を取り巻く環境は大きく変化している。

また、国においては、全国各地で表面化した保育施設での事故や不適切保育

などを背景に、配置基準の見直しが検討されている。

本市の配置基準についても、国の動向を注視しつつ、保育の質の更なる向上に向けて、子どもの安全や育ちを支えるといった観点から、見直しについて検討していく。

根本市議は、配置基準をさらに手厚くする検討、改善が必要との認識であるので、迅速な改善を求めました。

早朝保育や延長保育の保育士の有資格者の時給

1,170円 無資格者の時給 1,100円

Q 資格者、無資格者の時給と差額の理由は、

A 早朝保育や延長保育の保育士の有資格者の任用初年度

	早朝保育、延長保育の保育士	
	有資格者	無資格者
週5日勤務	97人	138人
週3日勤務	93人	55人
	190人	193人

の時給は、1,170円で、無資格者の任用初年度の時給は、1,100円。

差額の理由については、保育資格の有無により、業務内容が異なるため。金額の設定については、代替保育士等、他の非正規保育士との均衡が図れるよう設定した。

保育士確保の取組

Q 保育士確保は

A 広報とよたや市HP、ハローワークによる募集。園の

近隣自治区等に募集案内の回覧。令和3年度から新たに採用ホームページを作成し、大手民間の求人検索サイトでの募集を開始。新聞折込の求人チラシによる募集も行っている。

働く日数や時間に幅を設けて応募者に条件を提示するなど、保育士確保に向けた取組を進めている。

根本市議は、保育の質の向上のため、処遇の改善が必要として、処遇改善の考えを問いました。

処遇改善の考え

A 非正規保育士の処遇については、正規職員の給料水準の他、近隣他市の保育士、民間保育所の保育士の状況を総合的に考慮の上、必要に応じて処遇の改善を行う。

核兵器のない平和で公正な世界へ 被爆者とともに前進しよう

日本原水協全国集会・全体集会 視聴会 報告

豊田・みよし地域原水協事務局長
柏木義孝

核の使用・威嚇を
やめよ！ストンプ
大軍拡・増税！
現地焼津市では、
3年ぶり

3・1 ビキニデー 核兵器禁止条約に 参加する日本へ

平和行進500名が参加。ロシアのウクライナ侵略から1年がたち、韓国やマレーシア、諸島から現地に参加され、オンラインでアメリカ、ドイツから参加、ロシアの核威嚇発言に対する抗議とウクライナから即時撤退すべきとの発言がありました。また今年の特徴は、岸田政権が安保3文書で敵基地攻撃能力と5年間で43兆円もの大軍拡・大増税に対する反撃の集会となりました。

28日に行われた全体集会には、豊田市で5人がオンライン参加しました。海外代表や全国の運動紹介、日本原水協の基調報告がありました。参加者の感想は、「若い方にビキニ水爆実験のことは知られてない、ウクライナ戦争と関連して訴えていく」「頑張っつて、署名を広く訴えていこう」など各団体で具体化を話し合う事を決めました。

学生食料支援プロジェクト 多くの学生が参加

3月1日午後3時から、貝津町の自治区の広場で10回目の食料支援（民青同盟主催）が実施されました。大学は春休みですが、部活動などで帰省せず残っている学生が多くいて、開始時には30名近くの学生が列を作り、33名の学生が会場を訪れ、食料を持ち帰り、アンケートに答えてくれました。「生活が大変な中、本当に助かります」「毎回、楽しみにしています」などの反応が多くありました。



開始前、列を作って並ぶ学生達



提供された食料。30人以上の人が商品提供に協力してくれました。

「唯一の戦争被爆国日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」
「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」にご協力を。

大軍拡大増税許さない スタンディング行動

3月19日(日)

とき:午後1時～

豊田市駅西側デッキ

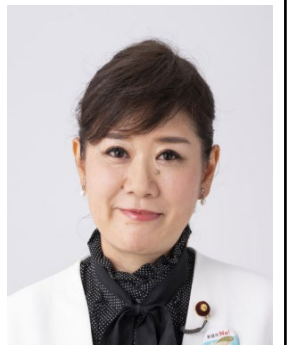
主催 9条改憲NO!豊田市民アクション

- ◆法律相談は弁護士が
3月は第4土曜日
午前10時～12時で
- ◆生活相談は随時、根本議員が対応
- ◆法律相談は要予約。お申し込みは
日本共産党西三地区委員会まで
電話 0564-23-2785
- ◆生活相談は根本議員まで
電話 0565-34-4772

無料 法律・生活相談
おこなっています



根本みはる
豊田市議員



もとむら伸子
衆議院議員